

# 議案第1942号

## 会津都市計画道路の変更について

～ 計画図及び資料 ～

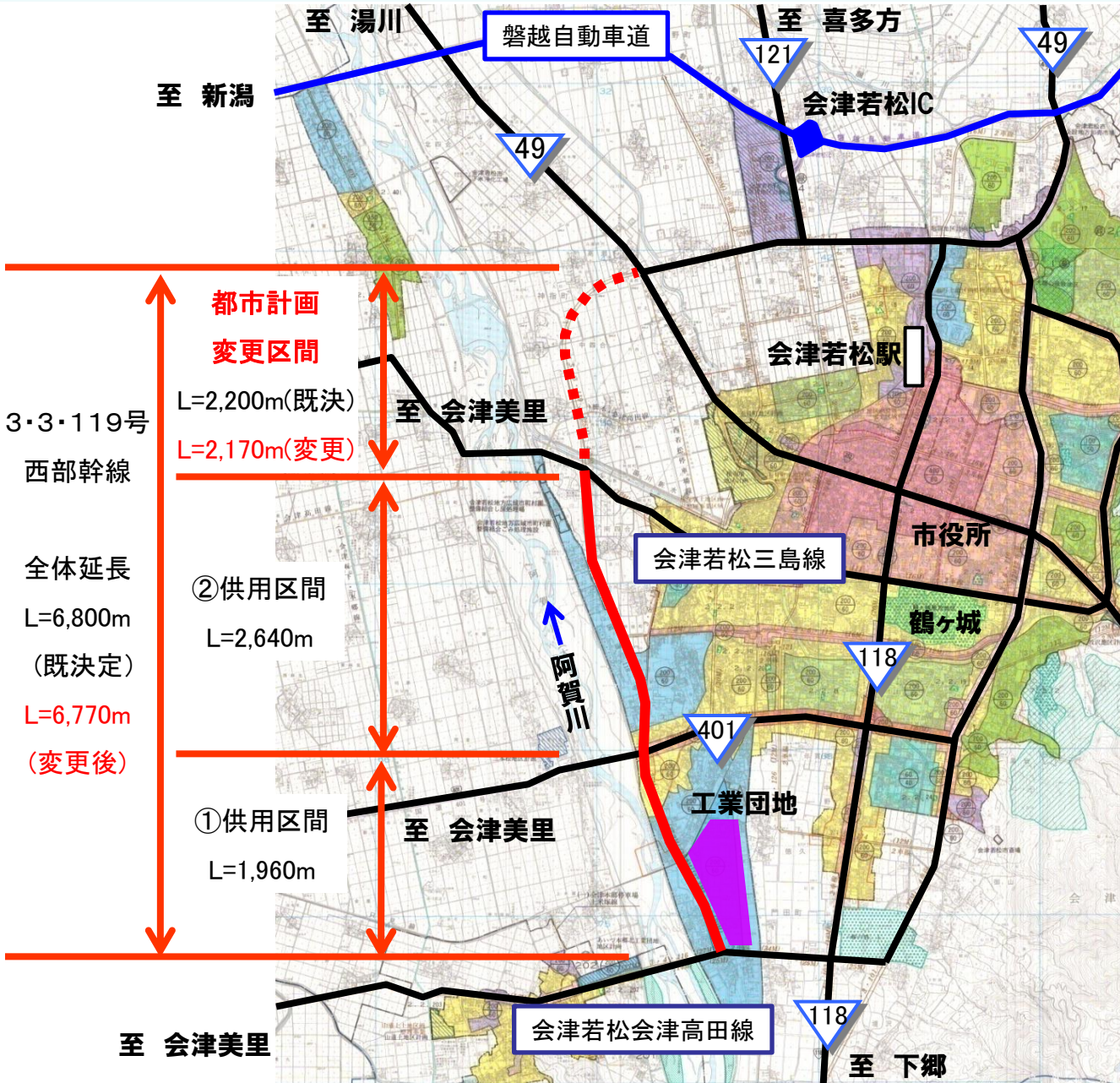
# 1. 都市計画案の概要

議案第1942号

会津都市計画道路の変更について

◇ 3・3・119号 西部幹線の変更

# 2. 都市計画道路「西部幹線」の概要



- 【西部幹線の経緯】**
- ・昭和59年度 都市計画決定
  - ・昭和63年度 事業着手
  - ・平成12年度 ①4車供用(L=1,960m)
  - ・平成20年度 ②2車供用(L=2,640m)
  - ・平成22年度 ②4車供用(L=2,640m)
  - ・平成24年度 今回都市計画変更

- 【西部幹線の整備効果】**
- ・「外環状道路」の全線開通による
  - 市街地の渋滞解消**
  - ・会津若松ICと工業団地の
  - アクセス向上**

3・3・119号  
西部幹線

都市計画  
変更区間

L=2,200m(既決)  
L=2,170m(変更)

至 会津美里

②供用区間  
L=2,640m

至 会津美里

①供用区間  
L=1,960m

至 会津美里

全体延長  
L=6,800m  
(既決定)  
L=6,770m  
(変更後)



# 3. 変更区間の概要

## 【神指城の歴史】

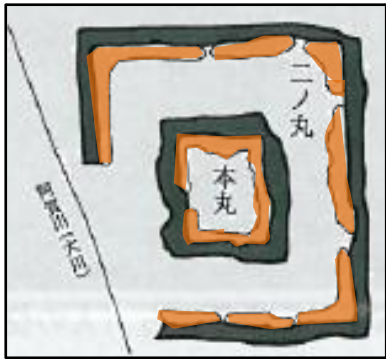
1600年3月：上杉景勝が家老の直江兼次に築城を指示。

1600年6月：家康の会津征伐に備え築城中断。

（関ヶ原の戦いのため「会津征伐」中止）

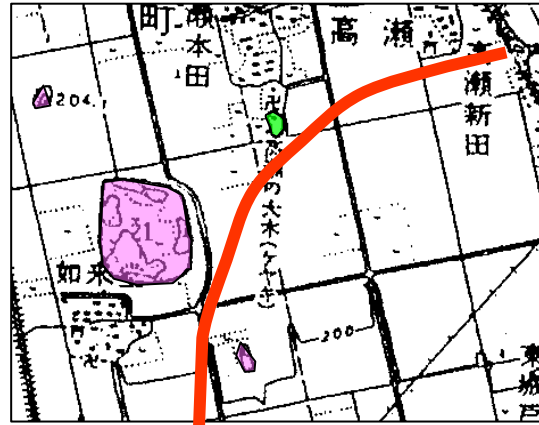
昭和47年：圍場整備により本丸と二ノ丸土塁の四隅を残し取り壊される。

**昭和59年8月：都市計画道路 西部幹線が都市計画決定**



【昭和47年圍場整備以前】

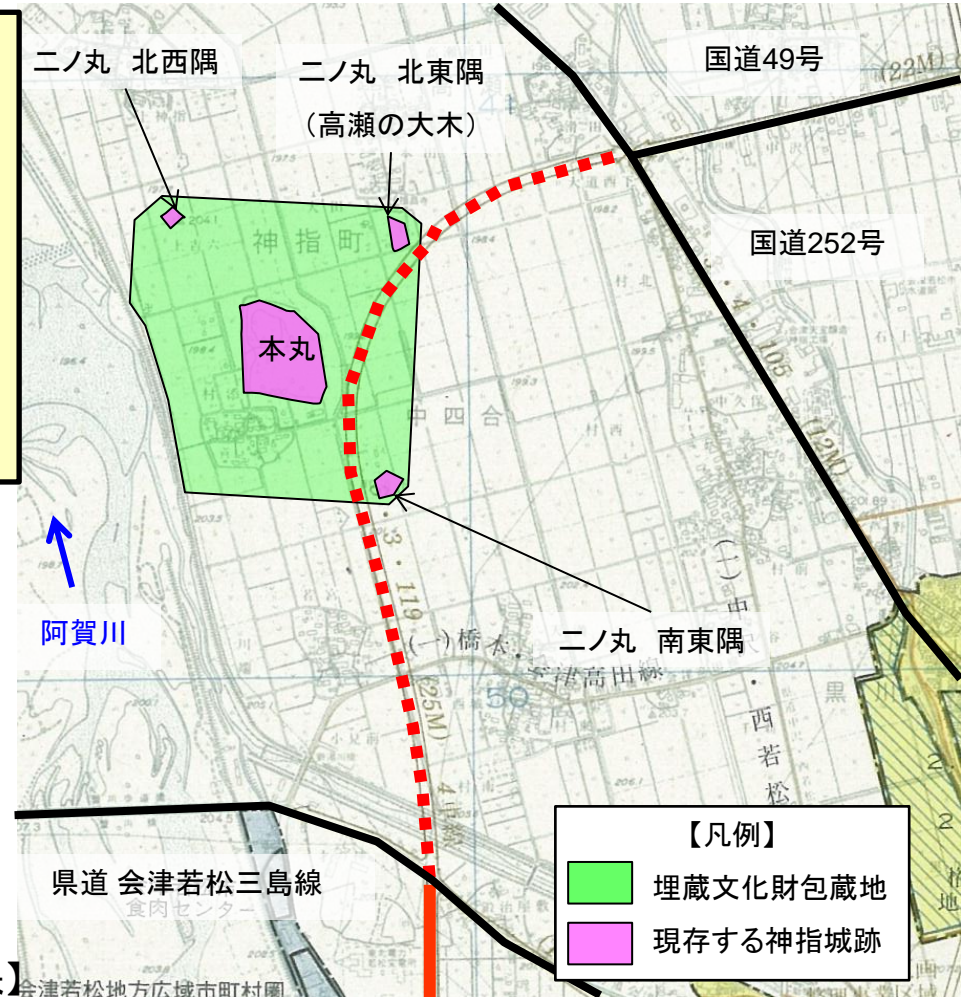
本丸と二ノ丸の土塁と堀が漢字的の「回」の字状に残る



【昭和59年8月 西部幹線当初都決】

現存する本丸と四隅を避けて都決

※北東隅のみが包蔵地に指定



### 【凡例】

- 埋蔵文化財包蔵地
- 現存する神指城跡

- 【凡例】**
- 土塁
- 堀

### 【埋蔵文化財包蔵地】

遺物や遺跡が埋もれていることが認識されている土地のこと。神指城跡の包蔵地は平成8年に全域に拡大し、平成11年に現在の区域となる。

## 4. ルートの見直し理由

現在都市計画決定しているルートが埋蔵文化財包蔵地内を通過するルートとなっていることから会津若松市教育委員会に試掘調査を依頼するとともに、道路事業計画に対する意見を求める。【平成22年3月19日】



### ◆道路事業計画に対する意見【平成22年3月30日】

「神指城跡は現状保存すべき遺跡と考える。」との回答を受ける。

### ◆道路計画を回避する範囲【平成22年12月3日】

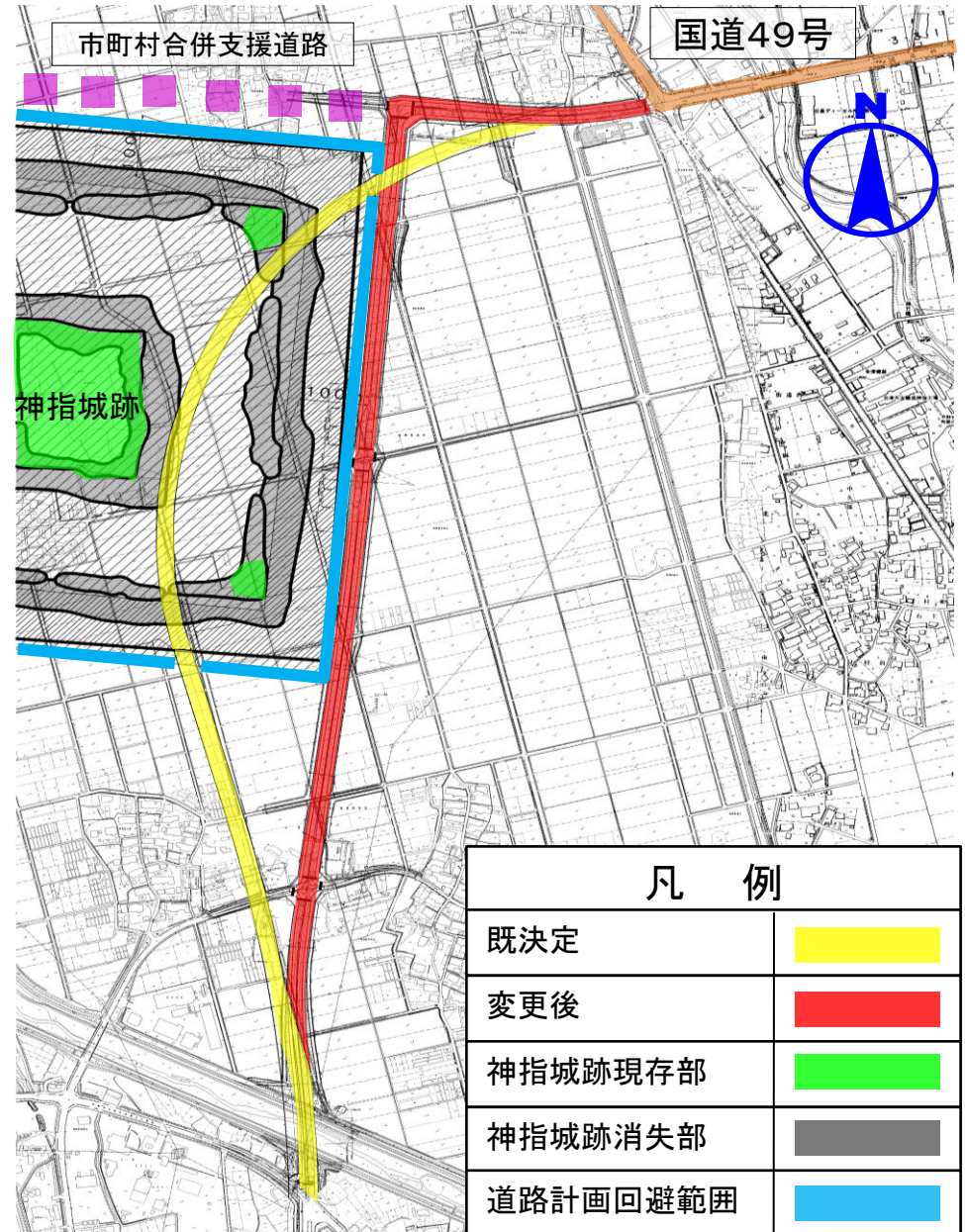
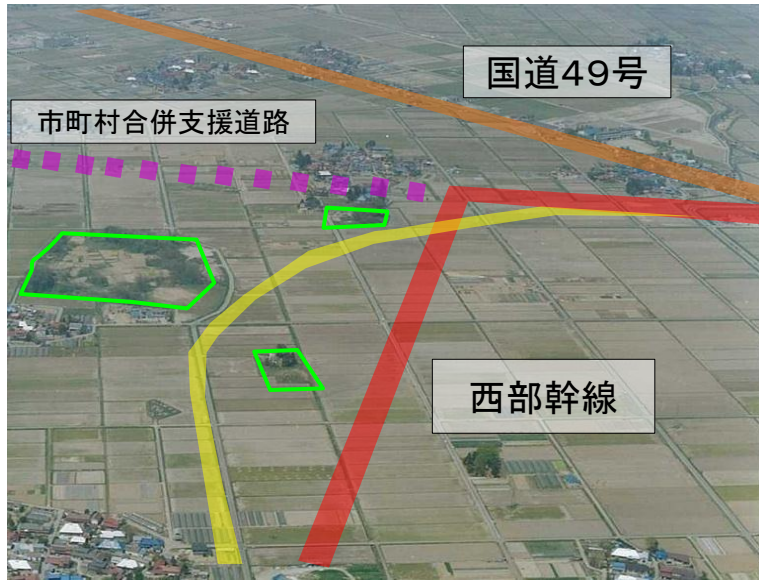
「現存する二ノ丸土塁の外側裾部から約100mの範囲」と示される。



上記を受け、「文化財保護」の観点から道路のルートを見直す。



# 5. 都市計画変更概要（計画図）








## 【道路ルート見直しのポイント】

- ・ 神指城跡の現存する二の丸土塁の外側裾部から約100mの離れを確保したルート
- ・ 市町村合併支援道路との接続を考慮したルート

## 【都市計画延長】

- ・ 現在 L=6, 800m
- ・ 変更後 L=6, 770m (−30m)

凡 例	
既決定	
変更後	
神指城跡現存部	
神指城跡消失部	
道路計画回避範囲	

# 6. 設計諸元及び標準横断

項目	諸条件	摘要
道路区分	第4種第1級	
設計速度	V=60km/h	
計画交通量	23,400台/日	H42推計値
車線数	4車線	

